

進捗
NOW!!

つるせ台小学校正門前の十字路に
押しボタン式信号機が設置されました!



11月30日、つるせ台小学校前に待望の信号機が設置されました。点灯式に私も参列しました。これはこれで大きな前進ですが、それに伴い、優先道路が変更になりました。慣れ親しんだ道路だけに、ついつい、いつものように横断するとひやりとすることも。慣れるまでしばらくは、注意喚起が必要ですので、「止まれ」の路面表示と立て看板を、急いで対応しました。



台風9号の被害を受け 河川整備の予算を強く要請

台風9号の記録的な降雨は市内の砂川堀を越水させ、山室など一部地域に床下、床上浸水など甚大な被害を及ぼしました。二度とこのような被害に見舞わないための方策として、砂川堀から新河岸川への放流量を増量するなどの整備が急務です。そのための予算を地元県議会議員として、来年度の予算計上を強く知事に要望しました。併せて、被災地域の山室ニュータウンに隣接するらぼ一と富士見の事業主体(三井不動産)に対し、実効性のある治水整備を要請いたしました。



▲山室地区 被害の様子



勇気をもって前へ!

Prefectural government report of Masaru Kaneko.

【発行】 **かねこ勝事務所**

〒354-0034 埼玉県富士見市上沢1-17-30

TEL&FAX **049(255)2527**

✉ masaru.ih@tbc.t-com.ne.jp



埼玉県議会ホームページ

<http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html>



県政を身近に!!



県政報告
vol.1

埼玉県議会議員

かねこ勝

Prefectural government report of Masaru Kaneko.

県政を身近に!

討議資料

平成28年 9月議会

TOPIC 9月議会のトピック

- 平成28年度埼玉県一般会計補正予算を可決
- ハツ場ダム建設に関する基本計画の変更について
- 埼玉県5か年計画の策定について

さっそく!

「県立富士見青年の家」が 動きだします!

来年度、 県が解体費用を予算化へ!

長く閉鎖されたままの「青年の家」をそのままにしておくべきではない、と選挙期間中、訴えました。そこで早速、この解決に向け、県と交渉を重ねた結果、県の来年度予算に「青年の家」の解体費用が計上される見通しとなりました。



▲閉鎖されたままの県立富士見青年の家

この間の経緯

「青年の家」は、有害物質のアスベストが使用されていることから、再利用は無理、解体するにしても廃棄物処理の費用が高つき全体で軽く一億円を超えてしまうということで、なかなか進みませんでした。

一方、隣のふじみ野市では、廃校となった県立福岡高校の解体を県の予算で対応し、その跡地については、ふじみ野市が「スポーツ公園」として再活用するとの情報をキャッチしました。そこで、「青年の家」も同様、解体については県の予算でお願いし、跡地については富士見市で活用させて欲しい旨、上田知事はじめ関係部署に強く要望し、今回の進展に至ったものです。

今後の課題

「青年の家」は、

- 有害物質のアスベストが使用されていることから再利用は無理
- 解体時の廃棄物処分費用が高価(1億円超)

ということで、なかなかすすみませんでした。私の提案は、この跡地を「びん沼自然公園」と一体で、市民が「憩い、楽しめるスポット」として活用するというものです。

過日、市長はじめ市の関係部署と協議したところ、「同じ方向で取り組みたい。今後、プランの策定をはじめ、準備を進めていく。」とのことでした。

皆様、いつも変わらぬご支援
誠に有難うございます。

埼玉県議会の9月定例議会が閉会となりました。私にとりまして初めて臨む定例議会でした。選挙の際、私は「県政を身近に!」というスローガンを掲げました。この会報は、皆様に県政を身近に感じていただくツールの第1号として、今後も定期的に発行して参ります。是非、ご一読いただき、ご指導、ご鞭撻をいただければ幸いです。

金子勝



▲初登場! 議会での自己紹介

勇気をもって前へ!

Prefectural government report of Masaru Kaneko.



【かねこ勝プロフィール】

昭和35年富士見市で生まれる
鶴瀬小学校、富士見台中学校、県立川越高校卒業。
昭和54年明治大学政経学部経済学科に入学
近代経済学を学び、ゼミでは比較政治学を研究。
サークルは雄弁部に所属。大学3年時、東京大学総長杯争奪
全国学生弁論大会で優勝、学生チャンピオンに。
昭和58年4月第一勧業銀行(現・みずほ銀行)に入行。
上野、銀座支店といった営業店と、本店の審査、企画セクシ
ョンを中心に約20年民間企業のサラリーマンを経験。

9月議会のトピック



勇気をもって前へ!

Prefectural government report of Masaru Kaneko.

●平成28年度埼玉県一般会計補正予算を可決

補正額:123億円⇒予算累計額:1兆8,933億円

(埼玉県の一般会計予算は、富士見市の一般会計337億円の約56倍。尚、埼玉県の人口は約724万人で富士見市の人口11万の約66倍)

〈主な補正内容〉

▲「さいたま水族館」の復旧工事 ⇒2億7,500万円

昨年6月に火災で損傷した「さいたま水族館」の復旧工事の予算です。新しい施設には、全方位から生物を観賞できる円筒形の水槽が配置されるなど来館者が観賞しやすい工夫も施されます。尚、さいたま水族館は損傷した施設を除き今も開館中で、新しい施設を含めた全面営業は今年3月の予定です。

▲埼玉農業の競争力強化 ⇒6,238万円

県は現在、「埼玉県スマートアグリ推進事業」を展開しています。「スマートアグリ」とは、先端技術を活用し、生産性と効率性に優れた次世代型農業のことをいいます。この具体的な取り組みとして、次世代技術実証・普及センターを整備するための費用です。

▲物産観光協会の体制強化 ⇒3,462万円

物産観光協会の体制強化⇒3,462万円
日本版DMO(Destination Management Organization)とは、観光で地域の「稼ぐ力」を引き出す法人のことです。国は、地方創生の一環として日本版DMOの形成・確立を進めており、県においては、今年4月に、一般社団法人埼玉物産観光協会が県全域を対象エリアとする日本版DMO候補法人として登録されました。

▲歩道、自転車レーンの整備他 ⇒10億1,083万円

▲国の経済対策に基づく河川工事等 ⇒95億223万円

▲台風9号被害に対する災害復旧工事 ⇒13億9,200万円

●ハッ場ダム建設に関する基本計画の変更について

全体の事業費が4,600億円から5,320億円へ720億円増額。増額理由は、安全対策の増額141億円、地質の見込み違い202億円、工事単価の変化233億円など。

ハッ場ダムは県にとって治水・利水の両面で必要不可欠です。今回の増加分は国に負担してもらいたいところですが、法制度上は治水・利水の面でメリットを受ける都県が割合に応じて負担する仕組みであるため、1都5県が共に、今回の基本計画の変更に対してやむを得ず同意。

県の負担は570億円が更に88億円増え、658億円となります。



●埼玉県5か年計画の策定について

県が目指す将来像とそれを実現するために県が今後5年間(平成29年度から33年度)で取り組む施策をまとめたもので、県政運営の基本となる計画案です。まず、県が目指す将来像ですが、次の3つです。



次に、この将来像を実現するための施策ですが、6つの分野に分け、14の基本目標を掲げ、その達成に向け57の具体的な施策が講じられています。尚、9月議会では5か年計画特別委員会(議員18名)が設置されました。今後、この委員会で計画案が集中的に審議されます。

下南畑で 国道254線の橋脚工事が始まります。

国道254線(旧・川越富士見有料道路)は和光市まで延伸することが決まっています。また、その間の国道254線と浦和所沢街道の交差については、国道254線が浦和所沢街道を跨ぐオーバーパス方式が採用されることが決まっています。このオーバーパスの富士見市側の橋脚工事が近く、着工となります。但し、もう一方の志木側の橋脚工事については目途が立っておりません。片方だけ橋脚があるという不自然な光景が当面、続くこととなります。



〈ご参考〉 国道254線(旧・川越富士見有料道路)の和光市までの延伸については、富士見市と志木市、和光市の3市が関わりますが、志木市で、まだ買収が済んでいない(時期の問題で、売却の意向は確認済み)箇所があります。加えて、同じ志木市エリアの沿線住民(地権者ではありません)で、道路建設に強硬に反対している方々がいます。このままでは東京オリンピックまでに開通することは難しい状況にあります。私も含め、このエリアから選出されている全ての県議会議員が和光市までの早期、開通を県に要請しています。

スポーツと埼玉県

●オリンピックパラリンピック

2020年東京オリンピック競技大会では、埼玉県内でバスケットボール、サッカー、ゴルフ、射撃が開催される予定です。同じくパラリンピックでは射撃が開催される予定です。

●ラグビーワールドカップ

2019年9月、日本でラグビーワールドカップが開催されます。ラグビーワールドカップはオリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界的なスポーツイベントです。その開催都市(全国で12都市)に埼玉県熊谷市が選ばれ、埼玉県熊谷ラグビー場が開催会場となります。現在、大規模改修工事(総工費72億円)に向けての準備が進んでいます。完成後は2万4千人が収容できる会場になります。



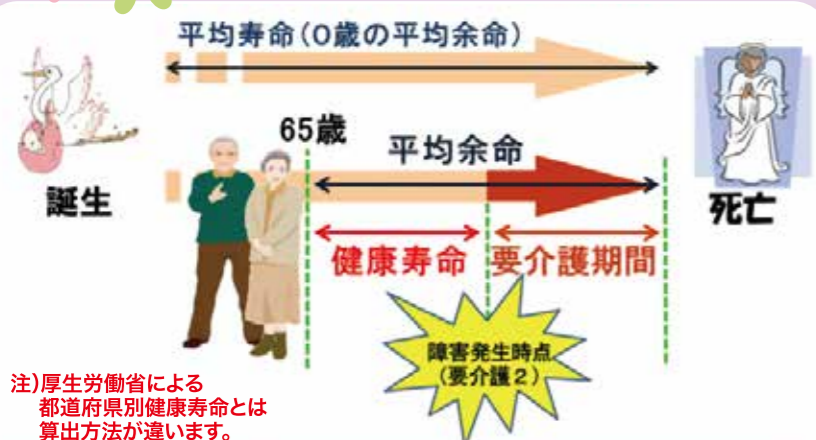
熊谷ラグビー場のイメージ図

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 ～ 埼玉県内開催会場 ～	
ゴルフ(オリンピック) ● 会場 霞ヶ関カンツリー倶楽部(川越市笠幡) ● 日程 7月20日(木)～8月2日(日) 男子 8月 5日(水)～8月8日(土) 女子	バスケットボール(オリンピック) ● 会場 さいたまスーパーアリーナ(さいたま市中央区) ● 日程 7月25日(土)～8月9日(日)
射撃(オリンピック・パラリンピック) ● 会場 陸上自衛隊朝霞訓練場(練馬区・朝霞市・和光市・野連市の1区3市にまたがる) ● 日程 【オリンピック】7月25日(土)～8月2日(日) 男子男女10種目、女子男女2種目 【パラリンピック】8月26日(水)～9月2日(水) 男子男女2種目	サッカー(オリンピック) ● 会場 埼玉スタジアム2002(さいたま市緑区) ● 日程 7月22日(水)～8月8日(土) (抽選場も含めた全日程)

出典:埼玉県公式HP「埼玉県内で開催予定の競技・会場」
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0308/2020tokyo/hostvenue.htm>

富士見市の健康寿命を伸ばそう! 女性の健康寿命は県内、下から2番目。

埼玉県では、「健康寿命」を65歳に達した方が【要介護2以上】となるまでの平均的な年数として算出しています。



出典:埼玉県公式HP「埼玉県の健康寿命」 <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/kenzyu.html>

健康寿命って?

健康寿命という言葉をお聞きになったことがあると思います。単なる生存ではなく、生活の質を考慮し、「あと何年、自立して健康に生きられるか」を測る健康指標のことです。そこで今、この健康寿命を延ばすことが注目されています。

※県では、「健康寿命」を65歳に達した方が要介護2以上となるまでの平均的な年数として算出。

富士見市の健康寿命

ところで、富士見市の健康寿命。埼玉県には63の市町村があります。その中で男性は55位、女性はなんと62位、下から二番目と、大変残念な状況にあります。

埼玉県の取り組み

県では、健康寿命を延ばす取り組みとして、平成24年度から「健康長寿埼玉プロジェクト」を推進しておりますが、そこで誕生したのが「健康長寿埼玉モデル」です。県はこのモデルの全県への普及を進めていて、現在、29の市町村まで拡大しました。

一方、富士見市はまだこの仲間入りが果たせていません。女性の健康寿命が県内で下から二番目という実情に照らしても、早期にこのモデルを導入し、県の支援も得ながら、健康寿命延伸への取り組みを進めてはいかがでしょうか?と星野市長に提案させていただきました。

- 平均寿命の県内トップ(H22年) 男性(所沢市) 80.7歳/女性(和光市) 87.1歳
- 健康寿命の県内トップ(H24年) 男性(鳩山町) 17.76年/女性(上里町) 20.70年

シリーズ

埼玉の人

【渋沢栄一】

彩のくに こどもかるた

【渋沢栄一】1840年(天保11年)-1931年(昭和6年)
江戸時代末期(幕末)から大正初期にかけての日本の武士(幕臣)、官僚、実業家。第一国立銀行や東京証券取引所などといった多種多様な企業の設立・経営に関わり、「日本資本主義の父」ともいわれる。また、教育、国際親善など多くの事業の発展にも尽力し、様々な功績を後世に残している。